



最近、さまざまな下剤が発売されていると聞きましたが、効能や使い分けについて教えてください。

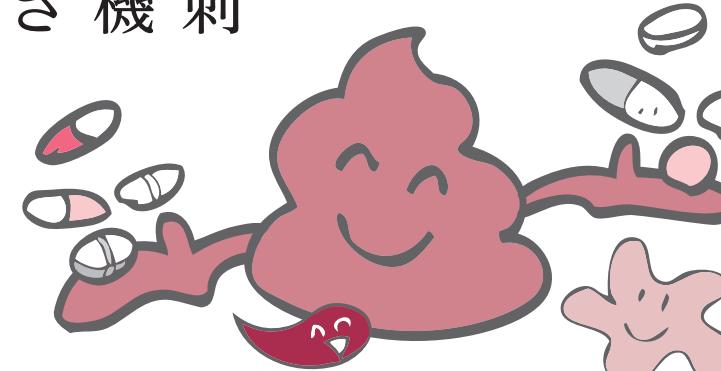


2012年

売され、現在は6種類あります。作用としては、従来の大腸だけではなく小腸からも水分を補充させたり、胆汁酸という生理的な物質を有効利用させたり、大腸の水分保持機能を向上させることで、便を軟らかくする非刺激性の下剤の機能をよりアップさせ、自然な排せつを目指しています。薬によっては、妊婦さんには使えない、子どもから使える、また、腹痛の改善に有効なものや大腸の活動

も活発にするものなどあります。剤型も錠剤ばかりではなく、粉薬、ゼリータイプと、それぞれ使い分けができますが、薬との相性も大きく関係しますので、飲んでみないと

分かりない面もあります。なお、新しい薬は値段も1桁ほど高いので、まずは従来薬で効果が不十分や不都合な場合の使用をお勧めです。最後はウン・次第?



朝倉病院
理事長／院長
田辺 裕久さん